

# ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

**REI** **REI MATSUOKA**

ITO RACING BORG CUSTOM

REI MATSUOKA ANNUAL REPORT

2020 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ



## REI.M Special Thanks

東真産業株式会社

信じろこを  
利ちゃん

株式会社  
デベロップ岡山



PRIDE1  
YAMASKA

KIJIMA  
MOTORCYCLE PARTS & ACCESSORIES

Realize

よしまら

TAKASHI MIMURA  
MISAE

HIROMI  
HATSUE SUGIMOTO



## 2020 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP RESULT

第1戦： スポーツランド SUGO（宮城県）1周=3.7375 km

クラス： ST600 マシン： YZF-R6

観客動員数： 2日間合計 8,300人

2020年8月9日（日）天候：雨 コース：ウエット

予選： 26位（39台中）

2020年8月10日（祝月）天候：晴れ コース：ドライ

決勝： 23位



第3戦： オートポリス（大分県）1周=4.674 km

クラス： ST600 マシン： YZF-R6

観客動員数： 2日間合計 6,200人

2020年9月19日（土）天候：晴れ コース：ドライ

予選： 25位（42台中）

2020年8月10日（日）天候：晴れ コース：ドライ

決勝： 25位



第3戦： ツインリンクもてぎ（栃木県）1周=4.801379 km  
クラス： ST600 マシン： YZF-R6  
観客動員数： 2日間合計 13,500人  
2020年10月17日（土）天候：雨 コース：ウエット  
予選： 24位（37台中）  
2020年10月18日（日）天候：晴れ コース：ドライ  
決勝： DNF



第3戦： 鈴鹿サーキット（三重県）1周=5.821 km  
クラス： ST600 マシン： YZF-R6  
観客動員数： 2日間合計 21,500人  
2020年10月31日（土）天候：晴れ コース：ドライ  
予選： 27位（39台中）  
2020年11月1日（日）天候：晴れ コース：ドライ  
決勝： 16位



2020 全日本ロードレース選手権ライダーシリーズポイントランキング  
#49 松岡玲 26位

## 2020 ロードレース地方選手権 RESULT

第3戦： 岡山国際サーキット（岡山県）1周=3.703 km  
大会名： 岡山ロードレースシリーズ  
クラス： インター ST600 マシン： YZF-R6  
2020年6月14日（日）  
予選： 天候：雨 コース：ウエット 4位（28台中）  
決勝： 天候：晴れ コース：ドライ 4位



第3戦： 鈴鹿サーキット（三重県）1周=5.821 km  
クラス： インター ST600 マシン： YZF-R6  
大会名： 第56回 NGK スパークプラグ杯 サンデーロードレース  
2020年11月21日（土）天候：晴れ コース：ドライ  
予選： 3位（24台中）  
2020年11月22日（日）天候：晴れ コース：ドライ  
決勝： 6位



## コロナ禍の 2020 全日本ロードレースシリーズ ST600 デビュー



2019 年全日本併催 MFJ カップ JP250 でタイトルを獲得し国際ライセンスを取得、伊藤レーシングに所属が内定し大排気量の600cc のテスト走行を開始する予定で進めていた最中2019 年末から出始めた新型コロナウイルスが 2020 年2月には感染が拡大しようとしていた。

全日本ロードレース全6戦の開幕は4月で、まだ未経験の600ccは慣れる位まではテスト走行したかったが、出来ず終いで緊急事態宣言が発令してしまった。

合わせて殆どのレースが中止、延期となりサーキットも閉鎖され練習の機会を失った。自宅で出来るトレーニングを積み重ねる他無かった。緊急事態宣言が解除されたと同時に慣れ親しんだ岡山国際サーキットでテスト走行を開始。

開幕が8月のSUGOと決まったが、凄まじいパワーとスピードに慣れず重く固い600ccマシンに今はしがみつくのが精いっぱいだった。伊藤巧監督に6月にある岡山地方戦に出てみては？

という提案を頂いたので、このレースで何か掴めればと思いついて出場で頂いた。結果は4位と全日本勢と並んでレース出来た事はとても勉強になったと同時にとんでもないクラスだと認識した。今まで経験したことが無い腕上がりを経験し、様々なアドバイスを受けたが、オートポリスRDが終了するまで腕上がり症状が改善できなかった。とても悔しく情けない思いをしたが、この悔しさと情けなさが自分を変えてくれた。

オートポリスRDから自分を変える事だけに集中し、改善を

図った。生活からトレーニング方法全てを変えて更に考え、もてぎRDに標準を合わせた。とても苦しかったが何とかもてぎRDにこぎつける事が出来た。

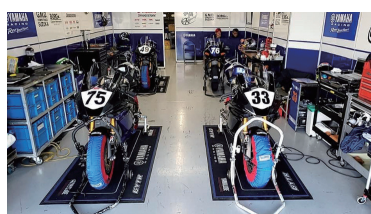


もてぎRDは雨の予選となってしまったがウォームアップ走行では18番手を記録。予選は24番手だったが、決勝はドライ予想だったので、強気

に攻めていく事だけを考え、そして決勝レースを迎えた。

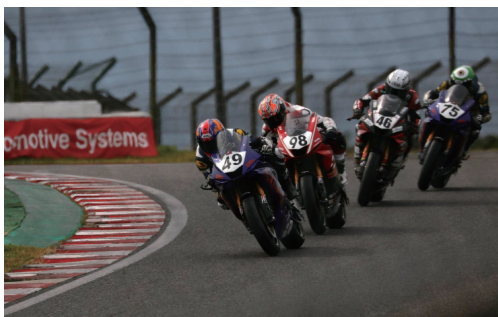
タイムも調子も悪くないのでスタートを決め1周回目から勝負をかけていく方法でスタート。

しかし強気だけが先行しすぎて5コーナーで先行車に接触してしまい、DNFとなってしまった。しかしもてぎRDで得た事は自分にとって収穫となった。勿論悔しさはあるが、強気と冷静さの両方が必要不可欠なんだと認識。



そして0ポイントのまま迎えた鈴鹿全日本MFJGP最終戦少しづつだが、マシンにも慣れ鈴鹿のテスト走行も数多くは無かったが、走行毎にタイム

アップでき、歯車が合ってきた。やっと自分の走りが出てきた嬉しさがあった。予選では2.14.851で27番手ではあったが、走行毎にタイムアップを図れているので、得意なスタートさえ決まれば、14周回の中で色々学べ順位も上げる自信があった。日曜決勝のウォームアップ走行ではベストの2.14.200で良い感触で決勝を迎える準備ができた。





そしていよいよ決勝レース、このレースに今年の全てを懸けて挑む時がきた。

スタートは成功して3周目で6台をパスし21番手までポジションアップ。しかし4周目にレッドフラッグが掲示されレース中断、転倒車両回収の後、7周という超スプリントレースにRACE2という形で再開された。

スタートはRACE1より大きく成功しその後は14位争いを3台で展開していましたが、5周目にまさかのレッドフラッグそこでレース成立16位という結果に終わってしまった。

かなりの接近戦だった、残り2周でプッシュし14位でチェッカーを受ける自信があっただけに残念な終わり方になった。

しかし手応えはありポイントも獲得した。その場で全日本選手権ST600クラス年間ランキングが26位と確定した。

全日本選手権は新型コロナウイルスと台風の影響で4戦になってしまったが、4戦戦えた事は来シーズンに繋がる良い経験になった。残すはNGK杯サンデーロードレースを残すのみとなった。



貴重な前日特別走行枠は雨、体の調整程度に抑えた。

11月21日(土)に行われたNGK杯予選、晴れてはいたが、風速10mという強風の上、まだ冷え込んだ8時からの予選となった。路温も10°Cと低く難しい予選となる予想だった。しかしこの難しコンディションの中、2.15.625で3位を獲得した。この3位が更に火をつけてくれた。

そして翌日の決勝、スタートは今まで一番決まりホールショットを奪う事が出来た。しかし相手は鈴鹿に慣れ親しん

だ全日本の選手がひしめき合う集団、難しいコンディションの中でも激しくレベルの高いレースをしかけてくる。



5台での2位争いまで展開を運ぶ事が出来た。

その間コースレコードまで0.2に迫る自己ベストを更新しつつレースを展開していく8周回目を4番手で通過し

更にポジションアップを図るが、11周回目最終シケインの位置取りで弾かれてしまい、6位まで一気にポジションダウンしてしまった。

そのまま6位でチェッカーを受け入賞という形でレース終了。これで2020年のレースは全て終了となった。



## ☆ ライダーコメント ☆

2020年は大変な年になってしまいましたが、時代が大きく変わろうとする中でも、スポンサー様にはご支援して頂きまして感謝がたえません。

私がこうして1年無事戦い抜く事が出来たのは、スポンサー様、ファンの皆様、関係者の皆様、応援下さった方々のお陰です。本当にありがとうございました。

1年目はこのような結果になりましたが、手応えは十分ありました。自信がみなぎっています。

来シーズンの動向ですがチームと継続の意向で進めています既に2021年の戦いは始まっているので、オフシーズンしっかりトレーニングを積み、準備を整え来シーズンはTOP10に食い込めるよう精進していきます。

また社会活動の方も全国の皆様、市民の皆様に少しでも貢献出来るよう精進して参ります。

又サーキットではスポンサーアピールもしっかりと出来、メディア等の媒体も取材を多数して下さい、本当に充実した1年となりました。

今後も何卒宜しくお願い致します。

伊藤レーシング BORG カスタム 松岡玲